

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

（絶対と制度）

2000年の歴史を持つキリスト教にはいろいろな宗派がある。カトリックは古くから、キリスト教の正統な流れを受け継ぐ宗派であり、最も大きい宗派とされてきたものである。2013年の初めに、ベネデクト16世が現役から法王を退位した。法王は終生の地位であり、生存中に退位するのは、過去6000年以來の出来事であったとされている。ベネデクト16世は世界にまたがる巨大な宗派を統括する任務を遂行する為の健康上の限界を感じたことと報道されている。

性」は多くの宗教の中心であった。この宗教からは科学が生まれ、宇宙の成り立ちにまで科学の世界を拡大している。その科学の世界でも、科学的真理の絶対性への概念が揺らいでいる。「絶対と相対」、この関係の中から、納得する世界を生みだそうと努力をしている。制度は人間が作ったものである。必要な時には、変えられるのである。ベネデクト16世の引退はこの考えと関係していると思われる。

隣の大国である中国では、新しい政権が誕生し、新しい中国の王朝を目指した政策を築いている。モンゴル帝国、清王朝の巨大な帝国の歴史を引き受けて、21世紀に中国共産党帝国の建築を目指しているのだろう。過去の

数千年の歴史の百戦錬磨の経験で帝国建設に向かわせているわけである。今や、世界の国々は、中国共産党政権のこの本当の姿を目の前にしたのである。今までは、衣の下に鎧をまとっていたわけである。日本国民は世界政治の厳しい現実の姿を、肝に銘じてしっかりと見極めなければならぬ。制度は人間が作るものであり、その制度を支えるものは、生きて行く価値を話し合い、共有する取り組みであり、「梅下村塾」に期待されるの使命である。

返柳 気分よし笑顔うかぶや 孫の顔早く見たいと願う日々 (福岡武男)

返柳 古希祝い美人の順位入れ替わり (清水恭子)

返柳 古希祝い顔役替わる同級会 (西村千恵)

返柳 笑顔ありまわりの顔が引き立てる (佐々木七草)

（顔と鏡）

3月10日(日) 第5面 東海文芸 高田一柳会(2月) 宿題「顔」 飛びきりの笑顔に向けてるVサイン

返柳 笑顔ありまわりの顔が引き立てる (佐々木七草)

返柳 笑顔ありまわりの顔が引き立てる (佐々木七草)

返柳 笑顔ありまわりの顔が引き立てる (佐々木七草)

返柳 笑顔ありまわりの顔が引き立てる (佐々木七草)

（謎かけつなぎ）

第5面の「わんぱく広場 いい味でますなあ 米崎小学校」への「謎かけ」

「いい味とかけて何と解く」

「自然の笑顔と解く」

「その心は？」

「味は全身体で感じて」

（東海新報記事から）

3月14日(木)の第2面の気仙坂に「子の親離れ、親の子離れ」が述べられている。このように云い継がれてきた言葉は説得力がある。

ローマ法王の記事は父なる神からの子離れへの一歩といっては、失礼に当たるとも思えないが、これも21世紀の世の中の出来事である。中国、北朝鮮、韓国など、隣の国々は先ずは仕掛けて、後はゆっくらと、いっくらと、とりなす戦略を使っている。いわば、「嘘も方便」を使い分けしている。

我が国は、このような駆け引きは身についていないようだ。我が国は、「梅下村塾」の「川柳、なぞかけつなぎ」を楽しみながら、これを身につければよいと思う。

我が国は、このような駆け引きは身についていないようだ。我が国は、「梅下村塾」の「川柳、なぞかけつなぎ」を楽しみながら、これを身につければよいと思う。

我が国は、このような駆け引きは身についていないようだ。我が国は、「梅下村塾」の「川柳、なぞかけつなぎ」を楽しみながら、これを身につければよいと思う。